

# Denka 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年2月7日

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4061 URL http://www.denka.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 学  
 問合せ先責任者 (役職名)IR室長 (氏名)大町 徹夫 (TEL)03-5290-5532  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	293,130	9.9	25,142	34.0	25,621	46.5	18,947	39.8
29年3月期第3四半期	266,740	△3.9	18,759	△19.7	17,492	△19.5	13,554	△14.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 22,885 百万円 (110.9%) 29年3月期第3四半期 10,848 百万円 (△27.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	215.05	—
29年3月期第3四半期	153.17	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	482,824	239,724	48.9	2,692.04
29年3月期	454,944	227,487	49.1	2,526.42

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 235,919 百万円 29年3月期 223,565 百万円

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の期末配当金は10円となり、1株当たり年間配当金は20円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	10.3	33,000	27.7	31,000	33.9	22,000	21.2	250.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご覧ください。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	88,555,840株	29年3月期	93,190,824株
30年3月期3Q	919,907株	29年3月期	4,699,722株
30年3月期3Q	88,107,444株	29年3月期3Q	88,494,979株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※期末自己株式数及び期中平均株式数には、株式給付信託が保有する当社株式を含めています。

## ※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は平成29年6月22日開催の第158回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、当社普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 第2四半期末 10円00銭 期末 10円00銭(注1)

2. 平成30年3月期の通期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 期末 50円00銭

(注1) 株式併合を考慮しない場合の配当額です。

(注2) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は20円00銭となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
平成30年3月期 第3四半期決算概要	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や輸出で持ち直しの動きがみられたほか、設備投資や生産も上向くなど、景気は緩やかに回復しました。世界経済は、全体として緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループは、国内外での拡販やコストの削減に努め、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、クロロプレンゴムや電子・先端プロダクツ製品を中心に販売数量が増加したほか、原材料価格の上昇に応じた販売価格の改定により、売上高は2,931億30百万円と前年同期に比べ263億89百万円(9.9%)の増収となりました。収益面では、ヘルスケア分野などで将来に向けた先行投資による費用負担が増加しましたが、販売数量の増加や交易条件の改善が収益拡大に寄与し、営業利益は251億42百万円(前年同期比63億82百万円増、34.0%増益)、経常利益は256億21百万円(前年同期比81億28百万円増、46.5%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は189億47百万円(前年同期比53億93百万円増、39.8%増益)とそれぞれ第3四半期連結累計期間として過去最高益となりました。

報告セグメント別の状況は次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間に報告セグメントの区分を変更しており、詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりです。

#### <エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は1,311億32百万円と前年同期に比べ228億82百万円(21.1%)の増収となりました。

クロロプレンゴムは販売数量増や採算是正を目的とした販売価格改定により増収となりました。スチレンモノマーやABS樹脂、デンカシンガポール社のポリスチレン樹脂等の販売も堅調に推移しました。

#### <インフラ・ソーシャルソリューション部門>

当部門の売上高は399億79百万円と前年同期に比べ14億13百万円(3.7%)の増収となりました。

農業土木用コルゲート管やセメント、耐火物・鉄鋼用材料は販売数量が増加し増収となり、肥料の販売は堅調に推移しましたが、特殊混和材の販売は前年を下回りました。

#### <電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は402億22百万円と前年同期に比べ63億60百万円(18.8%)の増収となりました。

電子部品・半導体搬送用部材の機能フィルムや半導体封止材向け球状溶融シリカファイラー、球状アルミナは旺盛な需要により出荷増となり、LED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”や電子回路基板は販売数量が増加し増収となりました。

#### <生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は309億64百万円と前年同期に比べ1億97百万円(0.6%)の減収となりました。

プラスチック雨どいや工業用テープは販売数量が増加し増収となり、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品も堅調に推移しましたが、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は前年を下回りました。

#### <ライフイノベーション部門>

当部門の売上高は248億74百万円と前年同期に比べ20億5百万円(7.5%)の減収となりました。

デンカ生研株式会社の試薬は販売数量が増加し増収となりましたが、インフルエンザワクチンの出荷は前年を下回りました。

#### <その他部門>

当部門の売上高は259億58百万円と前年同期に比べ20億64百万円(7.4%)の減収となりました。

株式会社アクロス商事等の商社は取扱量が前年を下回りました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ278億80百万円増加の4,828億24百万円となりました。流動資産は、売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べ216億83百万円増加の1,905億85百万円となりました。固定資産は、連結子会社Icon Genetics GmbHの完全子会社化に伴うのれんの増加などにより前連結会計年度末に比べ61億96百万円増加の2,922億38百万円となりました。負債は、運転資金の増加に伴う有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ156億43百万円増加の2,430億99百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ122億36百万円増加の2,397億24百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.1%から48.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績予想の修正)

最近の業績動向を踏まえ、平成29年11月8日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

平成30年3月期 通期連結業績予想 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	400,000	32,000	31,000	22,000	250.02
今回修正予想 (B)	400,000	33,000	31,000	22,000	250.02
増減額 (B-A)	—	1,000	—	—	—
増減率 (%)	—	3.1%	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	362,647	25,844	23,158	18,145	205.05

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。このため、1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、算定しております。

## 修正の理由

クロロプレンゴム、電子・先端プロダクツ製品の出荷好調が継続する見通しであることに加え、エラストマー・機能樹脂製品の採算改善が進んでいることなどから、前回予想営業利益を10億円増額し330億円と致しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,258	11,576
受取手形及び売掛金	85,069	101,683
商品及び製品	42,532	46,426
仕掛品	3,745	2,895
原材料及び貯蔵品	16,907	18,166
繰延税金資産	2,039	1,545
その他	8,809	8,768
貸倒引当金	△460	△477
流動資産合計	168,902	190,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,982	62,156
機械装置及び運搬具（純額）	74,338	67,787
工具、器具及び備品（純額）	2,895	3,139
土地	63,247	63,325
リース資産（純額）	312	232
建設仮勘定	10,679	13,454
有形固定資産合計	213,456	210,095
無形固定資産		
のれん	5,694	9,311
特許権	487	393
ソフトウェア	1,170	1,121
その他	2,989	3,050
無形固定資産合計	10,342	13,876
投資その他の資産		
投資有価証券	54,604	60,868
長期貸付金	664	617
繰延税金資産	1,608	1,734
その他	6,189	5,862
貸倒引当金	△823	△815
投資その他の資産合計	62,242	68,266
固定資産合計	286,041	292,238
資産合計	454,944	482,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,811	53,016
短期借入金	43,492	43,301
コマーシャル・ペーパー	—	13,000
1年内返済予定の長期借入金	72	155
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
未払法人税等	3,659	3,720
未払消費税等	814	1,161
繰延税金負債	0	19
賞与引当金	2,880	1,060
その他	36,459	36,417
流動負債合計	144,190	166,853
固定負債		
社債	20,000	12,000
長期借入金	40,184	40,031
繰延税金負債	5,895	7,523
再評価に係る繰延税金負債	8,405	8,403
退職給付に係る負債	7,774	7,387
その他	1,006	901
固定負債合計	83,266	76,246
負債合計	227,456	243,099
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	123,752	125,191
自己株式	△10,170	△3,186
株主資本合計	199,865	208,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,837	19,126
繰延ヘッジ損益	—	△158
土地再評価差額金	10,265	10,260
為替換算調整勘定	1,496	936
退職給付に係る調整累計額	△2,898	△2,533
その他の包括利益累計額合計	23,700	27,631
非支配株主持分	3,922	3,804
純資産合計	227,487	239,724
負債純資産合計	454,944	482,824

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	266,740	293,130
売上原価	200,854	218,640
売上総利益	65,886	74,490
販売費及び一般管理費	47,127	49,348
営業利益	18,759	25,142
営業外収益		
受取利息	47	48
受取配当金	1,230	1,522
持分法による投資利益	596	1,241
為替差益	—	744
その他	278	419
営業外収益合計	2,152	3,977
営業外費用		
支払利息	527	530
固定資産処分損	590	527
操業休止等経費	1,197	861
為替差損	367	—
その他	735	1,577
営業外費用合計	3,418	3,497
経常利益	17,492	25,621
特別利益		
投資有価証券売却益	648	—
特別利益合計	648	—
特別損失		
事業整理損	1,201	1,236
特別損失合計	1,201	1,236
税金等調整前四半期純利益	16,939	24,384
法人税、住民税及び事業税	3,631	5,464
四半期純利益	13,308	18,920
非支配株主に帰属する四半期純利益	△246	△27
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,554	18,947

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	13,308	18,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,510	4,326
為替換算調整勘定	△6,386	△617
退職給付に係る調整額	277	364
持分法適用会社に対する持分相当額	138	△109
その他の包括利益合計	△2,459	3,964
四半期包括利益	10,848	22,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,493	22,884
非支配株主に係る四半期包括利益	△644	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため、平成29年5月10日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式の取得及び消却を行っております。

(自己株式の取得)

当第3四半期連結累計期間において自己株式が30億50百万円増加しております。

(自己株式の消却)

平成29年5月15日に自己株式の消却を行い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が100億33百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が100億33百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リューシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	108,249	38,566	33,861	31,161	26,879	238,718	28,022	266,740	—	266,740
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	109	—	—	—	—	109	4,098	4,207	(4,207)	—
計	108,358	38,566	33,861	31,161	26,879	238,827	32,120	270,948	(4,207)	266,740
セグメント利益	4,618	901	5,078	1,491	6,357	18,447	234	18,681	77	18,759

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額77百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	164,532	68,490	33,718	102,208	266,740
連結売上高に占める割合 (%)	61.7	25.7	12.6	38.3	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	131,132	39,979	40,222	30,964	24,874	267,171	25,958	293,130	—	293,130
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	83	3	—	—	—	86	4,004	4,091	(4,091)	—
計	131,215	39,982	40,222	30,964	24,874	267,258	29,962	297,221	(4,091)	293,130
セグメント利益	11,745	738	6,950	958	4,265	24,658	432	25,091	50	25,142

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額50百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	169,092	83,160	40,877	124,037	293,130
連結売上高に占める割合 (%)	57.7	28.4	13.9	42.3	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の4区分に「ライフイノベーション」を加えた5区分の報告セグメントに変更しております。

平成29年4月1日付でデンカグループのすべての健康関連事業を統括する「ライフイノベーション部門」を新設したことに伴い、「ライフイノベーション」セグメントを新たに設け、従来「生活・環境プロダクツ」に区分していた健康関連事業を「ライフイノベーション」セグメントに移管しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 3. 補足情報

## 2017年度 第3四半期決算概要

2018年2月7日  
デンカ株式会社

## 1. 業績の概要

## 【総括(第3四半期前年同期比・通期の見通し)】

- ・当第3四半期(10~12月)の営業利益は108億円となり、前年同期を上回りました。当第3四半期累計期間の業績は、クロロプレンゴムや電子・先端プロダクツ製品を中心に販売数量が増加したほか、原材料価格の上昇に応じた販売価格の改定が、ヘルスケア分野などで将来に向けた先行投資による費用負担増加をカバーし営業利益は251億円(前年比34.0%増)、経常利益256億円(前年比46.5%増)、親会社に帰属する当期純利益は189億円(前年比39.8%増)と、それぞれ第3四半期連結累計期間として過去最高益となりました。
- ・通期予想では、第4四半期も、クロロプレンゴム、電子・先端プロダクツ製品の出荷好調が継続する見通しであることに加え、エラストマー・機能樹脂製品の採算改善が進んでいることなどから、前回予想営業利益を10億円増額し330億円と致しました。

## 【セグメント別状況(第3四半期前年同期比・通期見通し)】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、クロロプレンゴムの採算改善が進んだことや、スチレンモノマーが非定修年であったことから、当第3四半期累計営業利益は117億円と、前年同期比増益となりました。  
第4四半期もこの傾向が続く見通しであることから、通期予想営業利益は前回予想比20億円増額の155億円を見込みます。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、アルミナ繊維、農業・土木用コルゲート管、輸出セメントの出荷好調が、特殊混和材の販売減を補い、当第3四半期累計営業利益は7億円と前年同期並みとなりました。  
通期予想営業利益は前回予想を5億円下回る10億円を見込んでおります。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、半導体封止材向け溶融シリカや球状アルミナ、LED用蛍光体、電子部品・半導体搬送材料用部材の機能フィルムの出荷が増加し、当第3四半期累計営業利益は70億円と前年同期を上回りました。  
第4四半期もこの傾向が続く見通しであることから、通期予想営業利益は前回予想の通り95億円を見込んでおります。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、合繊かつら用原系「トヨカロン」の販売が前年を下回り、第3四半期累計での営業利益は10億円と前年同期比減益となりました。通期予想営業利益は、前回予想から5億円減額の10億円を見込んでおります。
- ・ライフイノベーション部門は、試薬販売数量が増加したものの、インフルエンザワクチン製造株の選定遅れにより、製造・販売が前年を下回ったことや、研究開発費等の負担増から、第3四半期累計の営業利益は43億円と前年同期を下回りました。通期予想営業利益は前回予想のとおりの55億円を見込んでおります。

## 【業績】

(単位:億円)

	2017年度 第3四半期実績 (4-12月)	2016年度 第3四半期実績 (4-12月)	増減
売上高	2,931	2,667	264
営業利益	251	188	64
経常利益	256	175	81
親会社株主に帰属する当期純利益	189	136	54

	2017年度 通期予想 (4-3月)	2016年度 通期実績 (4-3月)
売上高	4,000	3,626
営業利益	330	258
経常利益	310	232
親会社株主に帰属する当期純利益	220	181

## 2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

		2017年度 第3四半期実績	2016年度 第3四半期実績	増減
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	1,311	1,082	229
	営業利益	117	46	71
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	400	386	14
	営業利益	7	9	△2
電子・先端 プロダクツ	売上高	402	339	64
	営業利益	70	51	19
生活・環境 プロダクツ	売上高	310	312	△2
	営業利益	10	15	△5
ライフ イノベーション	売上高	249	269	△20
	営業利益	43	64	△21
その他 消去差	売上高	260	280	△20
	営業利益	5	3	2
合計	売上高	2,931	2,667	264
	営業利益	251	188	64

		2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	1,790	1,517
	営業利益	155	78
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	540	518
	営業利益	10	9
電子・先端 プロダクツ	売上高	560	463
	営業利益	95	71
生活・環境 プロダクツ	売上高	420	412
	営業利益	10	15
ライフ イノベーション	売上高	340	340
	営業利益	55	79
その他 消去差	売上高	350	377
	営業利益	5	7
合計	売上高	4,000	3,626
	営業利益	330	258

## 3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2017年度 第3四半期実績	2016年度 第3四半期実績	増 減	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
投 資	設備投資	165	181	△ 16	270	257
	M & A 他	42	8	34	42	12
	計	207	189	18	312	269
減価償却費		186	182	3	250	244
研究開発費		102	96	6	150	130
有利子負債残高		1,235	1,226	9	1,120	1,137

  

		2017年度 第3四半期実績	2016年度 第3四半期実績	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
為替レート [円/\$]		111.8	106.9	111.4	108.8
国産ナフサ [円/kl]		40,000	32,800	42,550	34,600

## 4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2017年度 第3四半期実績	2016年度 第3四半期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	1,311	1,082	229	200	29
インフラ・ソーシャルソリューション	400	386	14	△ 0	14
電子・先端プロダクツ	402	339	64	△ 3	67
生活・環境プロダクツ	310	312	△ 2	5	△ 7
ライフイノベーション	249	269	△ 20	△ 4	△ 16
そ の 他	260	280	△ 21	-	△ 21
合 計	2,931	2,667	264	198	66

## 5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2017年度 第3四半期実績	2016年度 第3四半期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	117	46	71	200	22	△ 150
インフラ・ソーシャルソリューション	7	9	△ 2	△ 0	3	△ 5
電子・先端プロダクツ	70	51	19	△ 3	35	△ 13
生活・環境プロダクツ	10	15	△ 5	5	△ 3	△ 7
ライフイノベーション	43	64	△ 21	△ 4	△ 9	△ 9
その他、消去差	5	3	2	-	0	2
合 計	251	188	64	198	48	△ 182